

あきの公造ってどんな人!? *What kind of person?*

コロナから日本を救った人!

国内初の治療薬「レムデシビル」が承認

あきのは、2020年3月の国会質問で、コロナ治療薬「レムデシビル」の活用をいち早く提案。“国内初の治療薬”として特例承認された結果、死亡率が減少し、中等症や重症患者の治療に絶大な効果を発揮しています。

全国民分のワクチンを確保

あきのは、2020年7月の国会質問で、海外製のワクチン確保に向け、政府に予備費の活用を提案。海外メーカーとの交渉が加速し、全国民分のワクチン確保への道が開かれました。さらに3回目の無料化への道筋をつけたのもあきのです。



小さな声を実現した人!

ピロリ菌除菌の保険適用

あきのは、国会質問や署名運動を通じて2013年2月、ピロリ菌を取り除く治療の保険適用範囲を慢性胃炎にまで拡大。以来、毎年5万人前後だった胃がん死亡者数は減り始め、17年には約4万5000人に減少。この間、約1万7000人の命が救われています。

胃がん死亡者数
約5年間で累計
約1.7万人
減少!

あきの議員がいなかったら 最悪のシナリオもあり得た

ワクチンを巡っては、2020年夏の時点で、海外から必要量が手に入るかどうか分かりませんでした。一方、国産ワクチンの実用化は、少なくとも数年かかる見通しでした。こうした中、あきの参議院議員の国会質問を契機に、海外メーカーとの交渉が一気に進み、ワクチン確保の道が切り開かれました。あきの議員の質問が日本を救ったと言っても過言ではありません。あきの議員がいなかったら、十分な量の海外製ワクチンを確保できず、最悪のシナリオもあり得たと思っています。



北海道医療大学
浅香 正博 学長

KOMEI HOTLINE

FUKUOKA [公明ほっとライン福岡]

2022
vol.1

あきの公造

参議院議員

福岡から、コロナに打ち勝つ日本をつくる。



次期参院選で「福岡選挙区」の公認決定

公明党は昨年12月13日、次期参議員選挙の福岡選挙区(定数3)の予定候補として、あきの公造氏を公認決定しました。あきの氏は、医師や元東京空港検疫所支所長としての経験を生かし、国内初の治療薬「レムデシビル」の承認や、全国民分のワクチン確保などを実現。新型コロナ対策の立役者として活躍してきました。胃がん予防のためのピロリ菌除菌の保険適用の拡充に尽力し、難病対策、障がい者支援にも力を注いできました。「愛する福岡から、コロナに打ち勝つ日本をつくる」と決意を述べています。

プロフィール

医師・医学博士。元厚生労働省医系技官。
元東京空港検疫所支所長。党新型コロナウイルス感染症対策本部副本部長、党九州方面本部長代行、党福岡県本部副代表。参議院議員2期。
長崎大学大学院医学研究科博士課程修了。
北九州市在住。54歳。

あきの公造 オフィシャルSNS



YouTube



LINE



Facebook



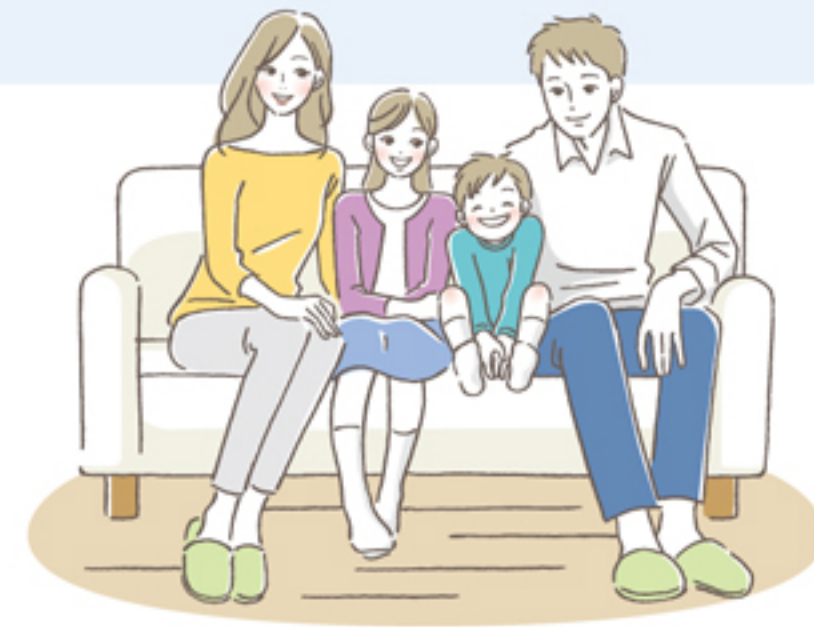
Twitter



公明党が実現しました！

コロナから命と暮らしを守る経済対策

家計を守る！



◆18歳以下
(高校3年生まで)の
子ども1人当たり **10万円**を
給付！

※国民の要望に応え、全額現金での給付も可能にしました

◆所得が低い世帯にも
◆経済的に厳しい学生にも **10万円**を
支給！

◆新たな「Go Toキャンペーン」
事業で観光・飲食業を支えます！



雇用を守る！



◆売上げが減少した事業者に
最大250万円の支援金を給付！

◆保育士や幼稚園教諭、看護師、
介護士などの賃上げを実施！



◆従業員への休業手当を支援する
雇用調整助成金の拡充を3月まで維持！

※売上げが一定以上減った企業が対象

※最大で休業手当の全額(日額上限1万5000円)を支給

コロナから、命を守る！

◆3回目のワクチン接種も
無料に！



◆約160万回分の飲み薬を確保へ！

次期参院選で 「比例区」の公認決定

公明党は昨年12月13日に行われた持ち回り中央幹事会において、2022年夏の参議員通常選挙比例区の予定候補として新人のくぼた哲也氏を公認決定しました。同氏は32年間、公明新聞記者(現・九州支局長)として健筆を振るい、鋭い視点から日本の政治課題に切り込んできた即戦力。「これまでの経験を生かし、現場の“小さな声”を国政に届けたい!」と決意を述べています。

